

平成22年度

八戸市少年少女発明クラブ（青森県八戸市）		
テ　　マ　；	「はちのへ子ども観光大使になろう」	
講　　師　；	宮城教育大学教職大学院 准教授 渡邊忠彦氏	
参　加　者　；	クラブ員(21名)、指導員(6名)、保護者(5名)	
協　　力　；	市役所、商工会議所、青年会議所	
会　　場　；	活動会場　八戸市児童科学館 発表会場　ふるさとフェスタ2010 会場(発明クラブブース)	
開　催　日　；	平成22年　7月4日(日)、7月19日(月)、9月20日(月)、 12月18日(土)	
活 動 概 要	①　5月8(土)	<課題を知る> 市役所の方より八戸市の観光政策や魅力を聞き、「八戸子ども観光大使になろう」と目標を立てて活動を開始した。
	②　6月12日(土)	<解決策を考える> 新しい特産品づくり、PR方法を考えるグループに分かれて活動した。
	③　7月10日(土)	<解決策を具現化する> 新しい「南部せんべい」の開発や、その食べ方などの考案、「八戸えんぶり」を紹介する商品パッケージや、新しい「せんべい汁」の開発などを行なった。
	④　10月16日(土) ～17日(日)	<市民に発表する> 八戸駅前で開催された「ふるさとフェスタ2010」に出展して、八戸を有名にするための新しいお土産菓子やせんべい汁の実演とPR用のグッズ、キャラクターを発表した。 後日、「八戸えんぶりせんべい」がパッケージとともに商品化された。



市役所の方による名産・名所の説明



PR方法の検討



PR方法の発表



PR方法の発表



発表会(展示ブース、新お土産菓子の試食)



発表会(新せんべい汁の販売)



発表会(終了後の記念撮影)



えんぶり祭をイメージした新お土産菓子



新お土産菓子のパッケージ(えんぶりクラフト)



商品化された部せんべいとクラフトパッケージ